

陸に あがった 海軍

連合艦隊司令部
日吉地下壕からみた
太平洋戦争

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION
船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

2015
I/3I[⊕] → 3/22[⊕]



神奈川県立歴史博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

<http://ch.kanagawa-museum.jp>



【主催】神奈川県立歴史博物館 【特別協力】慶應義塾 【協力】船の科学館・海と船の博物館ネットワーク 【後援】神奈川新聞社・朝日新聞横浜総局・毎日新聞横浜支局・読売新聞東京本社横浜支局・産経新聞社横浜総局・東京新聞横浜支局・日本経済新聞社横浜支局・NHK横浜放送局・TVK(テレビ神奈川)・全国近代化遺産活用連絡協議会・戦争遺跡保存全国ネットワーク・地盤工学会 【助成】日本財団
【開館時間】9時30分～17時(入館は16時30分まで) 【休館日】毎週月曜日 【アクセス】みなとみらい線「馬車道駅」より徒歩1分 横浜市営地下鉄「関内駅」より徒歩5分 JR線「桜木町駅」「関内駅」より徒歩8分
【観覧料】大人 900円(800円) 20歳未満・学生 600円(500円) 65歳以上・高校生 100円(100円) 中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料 ※()内は20名以上の団体料金 ※3月21日は無料開館日となります

おか 陸に あがった 海軍

連合艦隊司令部
日吉地下壕からみた
太平洋戦争

今から70年前、太平洋戦争末期を象徴するような悲劇的な作戦が、横浜から指令されていたことをご存知ですか?——旧日本海軍の連合艦隊では創設以来、戦闘時には洋上の最前線に司令部が設置され、指揮が執られてきました。しかし、太平洋戦争の長期化、戦局の悪化や戦域の拡大に従い、司令部は陸上にあがることを余儀なくされます。その場所として選ばれたのが、横浜市の日吉一帯の地域です。

当時、日吉には既に慶應義塾大学のキャンパスがありました。海軍はその校舎や宿舍などを利用し、地下には大規模な地下壕を掘削しました。戦中には、ここから戦艦大和の沖縄出撃や神風特別攻撃隊などの太平洋戦争末期を象徴するような指令が出されたのです。

当館では慶應義塾大学と協力し、これらの遺構についての調査を進めてきました。本展ではその調査成果をご紹介しますとともに、これらに関連のある戦艦大和や神風特攻隊などのゆかりの品々もご紹介します。

2015年には終戦から70年を迎え、当時の記録も、記憶も失われつつあります。本展を通じ、このような「戦争遺跡」を今後どのように後世に伝えていくことができるのかということを改めて考えるきっかけにいただければと思います。



連合艦隊司令部日吉地下壕から出土した遺物の一部
a 洋食器
b 蛍光灯「マツダ蛍光灯」のプラグ
c 資生堂の歯ブラシ
d 配電用の安全器
(いずれも慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室蔵・東京都)

特攻隊員の宿舎で使用されていた椅子
(海上自衛隊 鹿屋航空基地 史料館蔵・鹿児島県)



地下壕内に遺棄されたままの地下足袋。
海軍艦政本部地下壕。
(横浜市日吉の丘公園内) ※公開はされていません



戦艦大和艦長室に飾られていた「大和守護神」堂本印象画
(海上自衛隊第一術科学校教育参考館蔵・広島県)

【記念講演会】事前申込制(申込多数の場合は抽選)

「海底に沈む太平洋戦争の痕跡」

日時:2月21日④14時～16時
講師:古見きゅう氏(水中写真家)
会場:当館講堂
定員:70名
参加費:無料(ただし、特別展観覧券が必要です)
申込締切:2月7日④必着

【記念シンポジウム】事前申込不要

「戦争遺跡を残し、伝える意義を考える」

日時:2月7日④13時～16時
パネリスト:日吉地下壕勤務経験者、慶應義塾大学考古学研究会会員、東日本大震災での震災遺構保護の関係者、展覧会担当者(当館学芸員)
会場:慶應義塾大学日吉キャンパス 第4校舎 12番教室(直接会場に集合ください)
定員:200名(会場受付順)
参加費:無料

【現地見学会】事前申込制(申込多数の場合は抽選)

「連合艦隊司令部日吉地下壕をあるく」

日時:3月1日①、3月7日④ 各日① 10時30分～ ② 14時～ ※3月1日の①は小中学生を優先して受け付けます。
定員:各回30名(小学3年生以下の参加はご遠慮ください。また小学生は保護者の同伴が必要です)
会場:慶應義塾大学日吉キャンパス内
参加費:無料(ただし、保険料が30円程度必要です)
申込締切:2月15日④必着 ※参加希望回と中学生以下の方は学年を明記してください。

【学芸員による展示解説】事前申込不要

日時:2月1日①・14日④・28日⑤・3月22日①
時間:13時30分～
会場:特別展示室

■申込方法

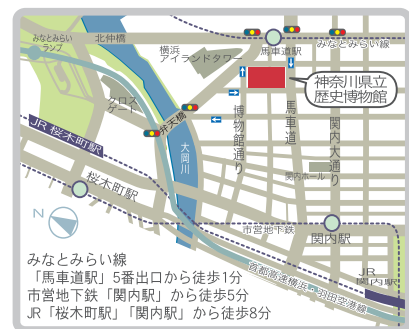
「往復はがき」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・行事名(現地見学会は参加希望回と中学生以下の方は学年も記入)を明記のうえ、当館へお送りください。または、当館ホームページの「行事案内」からお申し込みください。1枚で複数名申し込まれる場合は全員分の氏名を明記してください(1通で複数の催し物のお申し込みはできません。催し物ごとにお申し込みください)。

お問い合わせ・宛先:神奈川県立歴史博物館 企画普及課 Tel:045-201-0926 Fax:045-201-7364

申込先:〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60

ホームページ: <http://ch.kanagawa-museum.jp/>

twitter: @kanagawa_museum



みなとみらい線
「馬車道駅」5番出口から徒歩1分
市営地下鉄「関内駅」から徒歩5分
JR「桜木町駅」「関内駅」から徒歩8分

【次回 展覧会のお知らせ(予定)】 中世東国の茶—武家の都鎌倉における茶の文化— 会期:平成27年4月25日⑤～6月21日⑥